

神戸市公共施設等総合管理計画改訂に係る個別施設計画策定等包括支援業務 ヒアリング評価要領（公募型プロポーザル）

1. 委託先候補の特定方法

- (1) 委託先候補事業者の特定は、本要領に基づいて提案表及びヒアリング内容の評価を行い、その評価を参考にして、「神戸市公共施設等総合管理計画改訂に係る個別施設計画策定等包括支援業務にかかる委託事業者選定委員会」（以下「委員会」という。）の審議により選定を経て特定する。
- (2) 評価は委員会の委員（以下、「評価委員」とする。）が行い、各評価委員の評価点の合計で、委託先候補事業者の順位を決定する。
- (3) 評価委員は6名とし、ヒアリングの評価項目及び配点は下記のとおりとする。
- (4) 評価委員は、各評価項目について本要領に基づいた評価基準により評価し、事務局に評価表を提出する。
- (5) 神戸市内に本店を置く場合は各評価委員の評価点の合計に**5点を加算**する。
※業務グループで応募する場合、代表事業者または構成事業者の本店が神戸市内にあり、当該事業者の業務分担率が30%以上のとき、本店の所在地を神戸市とみなします。
- (6) 特に、実施体制については、一次審査時（参加表明書に記載の担当チームの能力と資格における体制）の体制との齟齬がある場合は、二次審査時に減ずる等の措置をとることがあります。
- (7) 評価表を集計し、一次審査における担当チームの評価点のみを加えた総計点を総評価点として委員会で審議し、委託先候補事業者を選定します。

2. 提案項目①について (評価点30点)

提案項目①に対する委託業務仕様書に明記された内容を包括しながら、i) 個別施設計画の策定の実施体制、実施方針案、全体スケジュール、及び施設所管部局とのヒアリングの実施についての提案、ii) 個別施設計画の策定における経費の配分の考え方が示された実施計画の提案、iii) モデル個別施設計画(案)と策定済個別施設計画と今回策定する計画との整合について、iv) 複数の所管部局にまたがる施設における個別施設計画の整理、v) 問診票等の閲覧による老朽度の判断、現場調査による劣化の判断と反映の仕方、vi) 各所管部局への説明に関する提案 について、課題の把握と解決方法について評価し、各調査表の相対的な比較評価を加味した絶対評価とする。

提案①	評価基準	評価 (1人あたり)
提案の評価	<ul style="list-style-type: none"> 提案の的確性及び正当性 提案の実現可能性 情報整理の的確性及び正当性 技術的提案の根拠 現状分析と適応性 実施体制の的確性及び確認 ※参加表明書との齟齬があれば減ずることがあります。(一次の評価点から減ずる) 	<p>(絶対評価) 要求項目ごとの配点に以下の評価係数を乗ずる。</p> <p>A (100%) →特に優れた内容である B (80%) →優れた内容である C (40%) →評価できる内容がある D (0%) →評価する内容が特にない</p>

3. 提案項目②について (評価点20点)

提案項目②に対する委託業務仕様書に明記された内容を包括しながら、i) 個別施設計画を総合管理計画に反映させるための手順の整理・助言、総務省の求めている別紙1および別紙2の作成と個別施設計画から反映する手法について提案、ii) 計画の改訂と見直しに関する助言、iii) 公共施設マネジメント推進体制に関する課題の整理 について、課題の把握と解決方法について評価し、各調査表の相対的な比較評価を加味した絶対評価とする。

提案②	評価基準	評価 (1人あたり)
提案の評価	<ul style="list-style-type: none"> 提案の的確性及び正当性 提案の実現可能性 情報整理の的確性及び正当性 技術的提案の根拠 現状分析と適応性 実施体制の的確性及び確認 	<p>(絶対評価) 要求項目ごとの配点に以下の評価係数を乗ずる。</p> <p>A (100%) →特に優れた内容である B (80%) →優れた内容である C (40%) →評価できる内容がある D (0%) →評価する内容が特にない</p>

4. 提案項目③について (評価点20点)

提案項目③に対する委託業務仕様書に明記された内容を包括しながら、i) 施設評価の考え方、ii) 必要情報の整理、iii) 施設カルテ等の作成および効率的な運用、iv) 公共施設マネジメントに資する情報を提供するための、次期会計システムの構築に関する助言 について、課題の把握と解決方法について評価し、各調査表の相対的な比較評価を加味した絶対評価とする。

加点項目	評価基準	評価 (1人あたり)
提案の評価	<ul style="list-style-type: none"> 提案の的確性及び正当性 提案の実現可能性 情報整理の的確性及び正当性 技術的提案の根拠 現状分析と適応性 実施体制の的確性及び確認 	<p>(絶対評価) 要求項目ごとの配点に以下の評価係数を乗ずる。</p> <p>A (100%) →特に優れた内容である B (80%) →優れた内容である C (40%) →評価できる内容がある D (0%) →評価する内容が特にない</p>

5. 神戸市内に本店を置く場合の評価について (評価点5点)